

第7分団第1部第2班(柳原)
消防操法最上支部大会で 2連覇の快挙



金山町消防団副分団長以上幹部との集合写真(2列目右端:矢口武博第7分団副分団長、以下前列右から:矢口慎一第7分団1部長、柴田隆宏さん、小沼慶幸さん、小沼翔さん、小沼雅登さん、三上重幸さん、丹勝浩第7分団長)



柳原消防団 2連覇の軌跡

7月31日、新庄市の最上広域消防本部を会場に、第38回山形県消防操法最上支部大会が開催され、町を代表して、第7分団第1部第2班(以下柳原消防団)が出場しました。ディフェンディングチャンピオンとしての重圧をはねのけ見事優勝を果たし、同部初の大会2連覇を達成しました。

出場選手は指揮者小沼慶幸さん、1番員小沼翔さん、2番員小沼雅登さん、3番員三上重幸さん、補欠員柴田隆宏さん。これは優勝した町消防操法大会と同じ布陣。補欠員を除く要員4名のうち3名が減点ゼロで個人賞を獲得するなど、堅実な操法技術と統率力の高さを見せ、出場した管内8消防団のうち唯一総得点で90点以上を叩きだしました。その圧倒的な強さの理由は一体何なのでしょう。

「本気で勝つための練習をした。練習は量より質を重視。愚直に練習を積み重ねたことで、自分達を信じて操法ができた。自然とプレッシャーも無かった」と振り返る指揮者の小沼(慶)さん。量より質とは言うものの、練習は午後11時を過ぎることも。「家族の支えなしでは、絶対にここまでやれなかった。結果を出すことで家族にはもちろん、協力してくれた皆さんに恩返しがあった。自分達のためだけにやっていたら勝てなかったと思う。」指導頂いた最上広域消防本部金山支署の皆さんや、当日駆けつけて頂いた町消防団員にも本当に感謝する」と3番員の三上さんは話します。

「来年の目標は当然3連覇。今年を超える操法をする」と要員の皆さんは口を揃えて意気込みます。勝つても決しておごらず謙虚に、家族や地域のために…。多くを背負ってなお力強く戦う柳原消防団は町の誇りです。柳原の代表として、そして町の代表として、柳原消防団は今後も私達の期待以上の活躍を見せてくれることでしょう。